

# 平成29年度 第2回技術研修会のご案内

日時	平成29年9月6日(水) 13:30～16:30
会場	アバンセホール(佐賀県立生涯学習センター) (佐賀市天神3丁目2-11 TEL 0952-26-0011)
主催	公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構
後援	佐賀県、(一社)佐賀県建設業協会、(一社)佐賀県県土づくりコンサルタンツ協会
研修項目	(1) 「佐賀国道事務所の事業概要及び有明海沿岸道路の整備における 軟弱地盤対策の取組について」

13:40～15:00

講師 国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

計画課長 上田 晴気 氏

佐賀国道事務所では、佐賀県内の国道3号や34号をはじめとする直轄国道の維持管理、西九州自動車道や有明海沿岸道路等の高規格道路ネットワーク整備、供用区間においては、歩道設置や交差点改良等の交通安全対策を行っています。当事務所で取り組む安全で安心な道路整備事業についてご紹介します。なかでも、有明海沿岸道路(地域高規格道路)においては、わが国有数と言われる軟弱地盤への対策が必要となっており、経済性や安全性と環境面に配慮し適切な対策工法の検討を行いながら整備を進めています。それらの検討状況と今後の展開についてご紹介します。

(2) 「九州初!～呼子大橋で実施する直轄診断及び修繕代行について」

15:10～16:30

講師 国土交通省 九州地方整備局 佐賀国道事務所

道路保全課長 中島 昇 氏

昭和30～40年代にかけて整備された全国の道路や橋梁といったインフラは、整備から概ね50年を迎え老朽化が進んでいます。道路などのインフラ整備を待っている地域がまだまだある中、国の予算が伸び悩む中、整備するための予算を確保するためにはそれらをできる限り長く使う(長寿命化)ことが求められています。

また、道路の老朽化対策に関しては、多くの施設を管理している地方公共団体に対して、財政面、技術面等でこれまで以上の支援が求められています。そこで、国土交通省では、地方公共団体への支援策の一つとして、緊急かつ高度な技術力を要する可能性が高い橋梁について直轄診断及び修繕代行を実施しています。ここでは、平成27年度から九州で初めて実施している呼子大橋(唐津市)の直轄診断及び修繕代行についてご紹介します。

対象者	地方公共団体等職員、建設事業関係者、一般の方(大学生以上)
定員	300名
参加料	無料
申込方法	当機構のホームページ( <a href="https://www.sagacat.or.jp/">https://www.sagacat.or.jp/</a> )より お申し込みください。1社につき3名まで受け付けます。

『研修情報』→『技術研修会』→『平成29年度第2回技術研修会申込』をクリック!

申込期間	平成29年8月9日(水)14:00～平成29年8月23日(水)17:00 (ただし、期限前でも定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。) なお、定員に満たない場合は追加募集を行います。 平成29年8月28日(月)14:00～平成29年8月30日(水)17:00 予定
------	---

問合せ先	〒840-0857 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3182番地 (公財)佐賀県建設技術支援機構 技術部 企画情報課 TEL 0952-26-1668
------	---

その他	1) 車でご来場される場合は、会場敷地内の駐車場をご利用下さい。 2) 座席は全席指定席(受け付け順)となります。
-----	--

※この研修会は、(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習(CPDS)認定を申請しています。